

ゴミの分別と循環型社会

身近なペットボトルなど使い捨てプラスチックごみが、河川や海の環境汚染問題になっている現状を知ってもらい、ごみを減らし有効に活用していく循環型社会の仕組みを、体験を交えて学習します。

対象（学年）：小学生
人数：クラス単位
実施場所：教室、屋内
所要時間：1時限

内容

1. 便利な生活に欠かせないプラスチック製のペットボトルや包装容器の「ポイ捨て」は、河川から海に流れ「プラスチックの漂流ごみ」となり生態系にも影響を及ぼしている現状を知ってもらいます。
2. 普段使い捨てしているレジ袋をはじめ、ペットボトルや容器包装などは、主に石油から作られており、回収しリサイクルすることで、資源の有効利用と地球温暖化の原因となる二酸化炭素の削減にもつながることに気づいてもらいます。
3. さらに、枚方市の環境副読本に紹介されているゴミの現状と「4R」を基本とした「持続可能な循環型社会」について、プラスチックごみの収集と分別の取り組みを学びます。
4. 最後にまとめて、実際にプラスチック容器や鉄・アルミ缶、紙容器などのリサイクルマークを見つけ出し、各種ゴミの分別体験を通して、みんなで出来る具体的な「4R」の取り組みを共有する体験学習です。

講師 NPO法人 ひらかた環境ネットワーク会議
連絡先 NPO法人 ひらかた環境ネットワーク会議
TEL 072-847-2286 FAX 072-807-7873
E-Mail jimukyoku@hirakata-kankyou.net

